

带状疱疹の理解とワクチン助成



県の補助はないが実施に向けて検討

問 水ぼうそうにかかった人は誰でも带状疱疹になる可能性がある。発症率は50歳代から急激に多くなり60歳〜80歳がピークの7割を占める。顔面神経痛および麻痺など重い後遺症が残る場合もあり、日常生活の質の低下の原因にもなる。

問 带状疱疹ワクチンの種類と費用、予防効果、持続する期間。

答 現在、薬事承認されているワクチンは2種類。(下表)

問 带状疱疹に関する住民への情報の発信。

答 これまで住民への情報発信はしていない。今後、带状疱疹に対する予防や早期受診の重要性を町ホームページ等で周知していく。

带状疱疹ワクチンの種類等

ワクチン名	種類	費用	予防効果	持続期間
乾燥弱毒性水痘ワクチン ビケン	生ワクチン	6,000円〜8,700円 ×1回	69.80%	約8年程度
乾燥組換え带状疱疹ワクチン シングリックス	不活性 ワクチン	22,000円〜27,000円 ×2回	96.60%	約10年以上

※費用は、町内医療機関の例による。

問 带状疱疹ワクチン接種の助成制度。

答 県の補助制度はなく、全額が一般財源負担となることを踏まえ、実施に向けての検討を進める。今後とも国や県へ助成並びに定期接種化を要望。

中学生の制服

ジェンダーレスは個別に対応



子どもたちを取り巻く安全な環境作りと保護者の観点から。

問 ジャージのデザインをジェンダーレスの観点と安全面から、統一する考え。

答 新しい制服の検討。教員委員会を設置して検討は行っていない。現場である中学校と協議しながら研究を進める。



男女配色違いのジャージ。どちらの着用でも認められているなら統一した色でも良いのでは。



都築 清子 議員
(公明党)

問 ジャージ、体操服の校外での着用時、名前が知られる不安とリサイクル時に、ネーム変更費用が必要なことからネーム取扱の検討。

答 安全面・緊急時対応などを考慮して運用しているので保護者には理解いただきたい。

問 保護者と学校の連絡・情報共有アプリ「コクロー」を活用して保護者の意見を聞く必要についての見解。

答 学校評価アンケートや保護者会で意見を伝えてもらいたい。